

皇太子殿下お手入れ

昭和41年に昭和天皇と香淳皇后をお迎えして開催された「第17回植樹行事並びに国土緑化大会」では、「精英樹による拡大造林」をテーマに13,000人の参加者によりスギ・ヒノキの苗木30,000本が植樹されました。将来立派な森となるようにとの昭和天皇のご発案から、3本ずつ「森」の字の形に植えられた「お手植え木」は、参加者が植えたまわりの木とともに、現在40年生を超える森林へと生長しています。皇太子殿下は、当時の写真パネルをご覧になった後、「お手植え木」6本の根元付近にて、豊かな森林土壌の生成促進を目的として「森林土壌生成促進材」を散布され、木製の鍬で土壌となじむように均されました。



参列者約13,000人で埋まった会場（久谷ふれあい林）



久松知事のご介添えでスギの精英樹をお手植えになる昭和天皇



霧雨のなか盛大に、参加者全員で植樹を行う



昭和天皇御製碑

御製
久谷村を緑に
そむる時をしむ
たの志みにして
杉うゑにけり



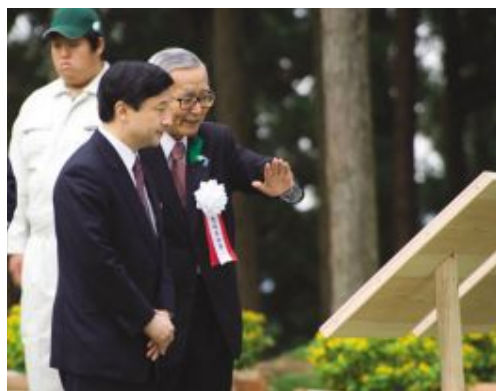
上浮穴高校生から
複層林のご説明



森林土壌生成促進材のご散布



介添えを行った坂本線の少年団員と中山高校生にお声かけ



加戸守行愛媛県知事から第17回植樹行事並びに国土緑化大会写真パネルのご説明





森林土壌生成促進材

久谷ふれあい林の森林整備を行なう過程で発生する枝葉や根株等を、チップ化または炭化し、森林内へ還元し有効に利用することを目的としています。さらに、本県林産物の代表であるシイタケの廃ぼだ木を粉碎し、チップ・木炭とともに散布することで、ぼだ木内の微生物等により腐朽を促進し、豊かな森林土壌の生成を促進するものです。



育樹活動

育樹活動に対する意識を高めることを目的として、お手入れ行事
 参列者及び中央・県外参加者により久谷ふれあい林で育樹活動
 が行われました。



大会会長(参議院議長)
江田 五月



農林水産副大臣
石田 祝稔



林野庁長官
内藤 邦男



国土緑化推進機構 理事長
佐々木 毅



愛媛県知事
加戸 守行



愛媛県議会議長
清家 俊蔵



長崎県知事
金子 原二郎



松山市長
中村 時広



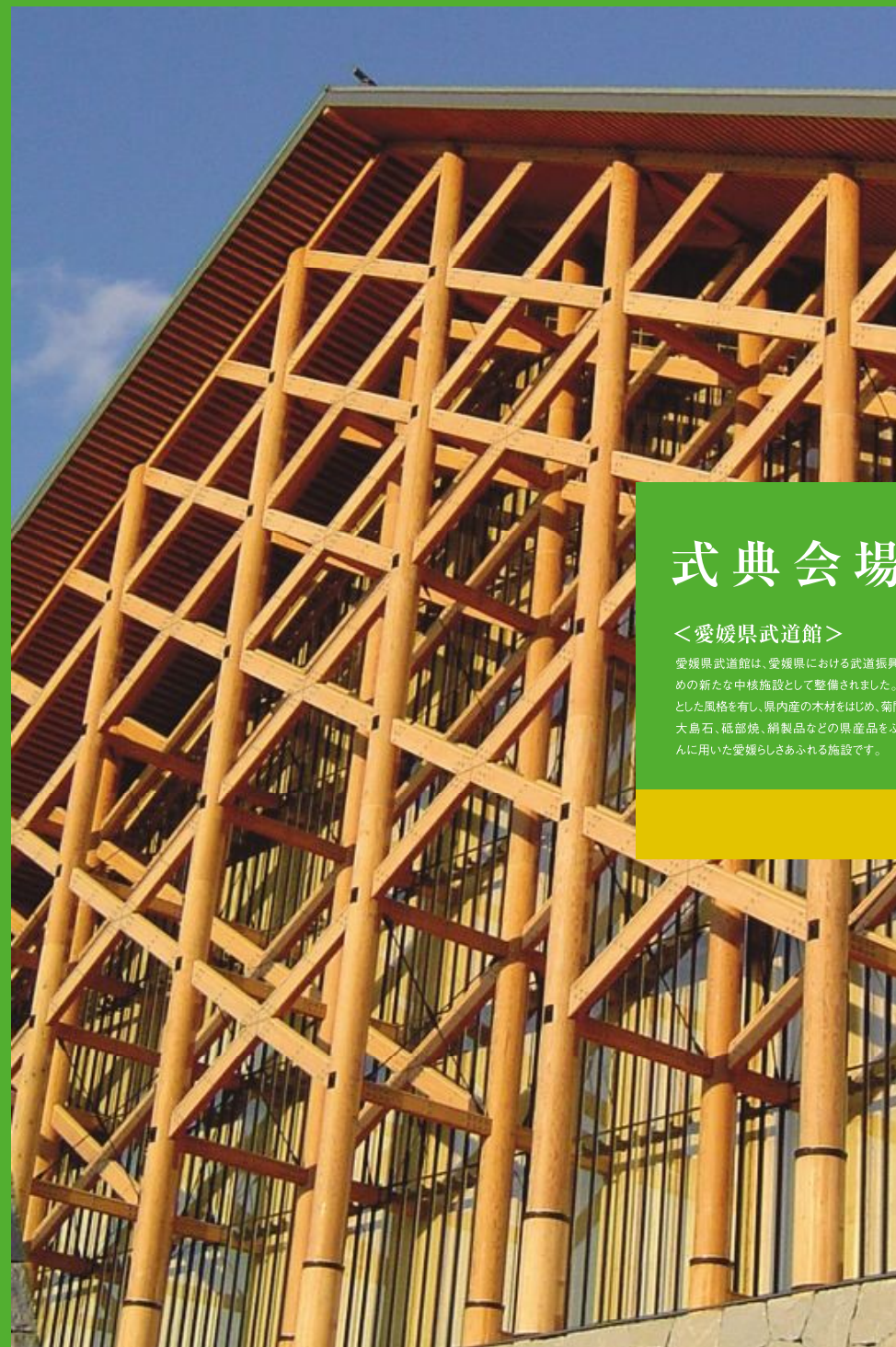
松山市議会議長
菊池 伸英



中央・県外参加者による式典当日早朝の育樹活動



式典会場に向かう参加者



式典会場

＜愛媛県武道館＞

愛媛県武道館は、愛媛県における武道振興のための新たな中核施設として整備されました。堂々とした風格を有し、県内産の木材をはじめ、菊間瓦、大島石、砥部焼、絹製品などの県産品をふんだんに用いた愛媛らしさあふれる施設です。